

## 「SDGs を意識した地域活動」

札幌創成高等学校 校長 小島 修二

担当 美馬 達哉

- 1 本校は「環境・生物・多様性」の3つの分野を中心にさまざまな活動を行っている。
- 2 授業内で全体的に取り組む活動内容と有志による学習活動の2種類の活動実践を行っている。これにより広く全体に周知し SDGs の理念を共有するとともに、特定の SDGs 分野に好奇心を抱いた生徒に関してはさらなる学びの追求をする機会を提供している。
- 3 活動事例は以下のとおりである。

### 【授業】

SDGs をテーマに国語科では「まわし読み新聞」の作成、英語科では「英語でスピーチ」、総合的探求の時間では世界・日本地域についての調べ学習と発表を実施。総合的な探求の時間ではさらに「放射線・放射能の科学」と「アイヌ民族の歴史から世界を見る」と「北海道の狩猟(エゾシカ・ヒグマ)～ジビエ」の3つテーマに北大と「北大アカデミックファンタジスタ」と題して研究活動を行なった。

### 【課外活動】

#### ・環境

「ペットボトル回収」「コンタクトレンズ空ケース回収」を実施。前者は 100kg の回収に成功し、校内に圧縮機を備えることにもつながった。後者に関してはこの活動報告の記載段階で進行中である。

#### ・食育、生物多様性

アニマルウェルフェアについて学ぶ牧場実習に参加。実際に牛の世話をすることで人との関わりについて学んだ。

#### ・文化多様性、国際理解

Sapporo International Night に参加し、世界各国から集まった様々な年齢層からなる小グループで「ジェンダー」や「貧困」など多岐にわたる題材で議論した。

・福祉

献血推進活動の一環として献血について学ぶ勉強会を全校で実施し、後日献血車を本校に招聘し、142名の生徒が献血に貢献した。

・その他関連分野

＜ノーベル受賞者を囲むフォーラム＞

「材料で未来を拓く」をタイトルに、身近な材料を用いて新たな時代に役立つ研究開発について、ノーベル受賞者から学んだ。

4 全体活動と有志活動の2本立てにより、適切なタイミングに適切な量の活動・情報を提供できており、これがスムーズなESD活動の貢献につながったと判断できる。今後の課題として、コロナ禍において“withコロナ”時代を生きていく我々がコロナと共存しながらこれまでの社会生活を取り戻していくことが必要であり、その一歩としてこのESD活動をコロナ以前のクオリティや活動の充実さを目指して活動していきたい。

学校メールアドレス

t-mima@sosei.ac.jp